

久米正雄の句碑 / 歌碑

～それぞれの碑を訪ねてみましょう～

磐梯熱海

5

いちりき
ひのわかの
灯は庭川に
ゆきく
雪暮るゝ

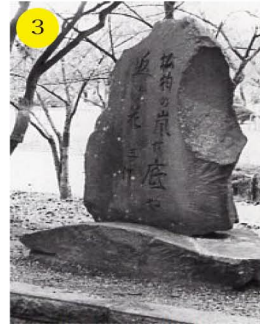
久米が旅館（一力）に滞在した際に詠んだもの。



1 金透小学校内
堂前町 5-21



2 文学の森内
豊田町 3-5



3 開成山公園内
開成 1 丁目 5



4 開成小学校内
開成 3 丁目 14-7



5 「四季彩一力」玄関前
熱海町 4-161



進学のため上京した久米が故郷を懐かしく想い詠んだ歌と思われる。



1982 年建立
蜜柑山の
山もみかん
上の上なる

●蜜柑山：蜜柑の木を栽培している山のこと

6 静岡県引佐郡
三ヶ日町宇志堂崎
三ヶ日中学校横自転車道



1985 年建立
破魔矢得て
飛雪の礎を
ひたに下る

●破魔矢：正月の縁起物や神具として神社・寺院で授与される矢
●礎：石段

7 神奈川県鎌倉市
長谷 1-5-3
鎌倉文学館敷地内



1987 年建立
島々かくれ
島々に
春の暮

8 三重県志摩郡
阿児町神明 731
「志摩観光ホテル」横 文学公園内

2000 年建立
魚城移る
にや寒月の
波さざら

寒月に照らされながら海の上を移動する魚の群れのごわめきをとらえたもの。

1994 年建立
猫吾妻
ついでに吹雪く
我が頬も

●菅平高原スキー場の発展の父柳沢健太郎氏に贈った色紙を碑にしたもの。

9 菅平高原
長野県上田市
真田町菅平ダボス

1966 年建立
古るは明治の
出窓かな

●金透小学校には出窓があった。春雪…春になって降る雪のこと
●母校を想って詠んだ句。



久米正雄
1891 (明治 24) 年 11 月 23 日生
1952 (昭和 27) 年 2 月 29 日没 (60 歳)
長野県上田市生まれ。
幼少期～学生時代を郡山で過ごした。
日本の小説家、劇作家、俳人。
俳号は「三江」。
“微笑”という語の造語者。

この他に句碑・歌碑がありましたら、ぜひ文学の森資料館へ情報をお寄せください。

郡山 駅 方面